

外務省「高校講座」



令和6年11月14日(木)に外務省 大臣官房在外公館課 現地職員管理官の小林龍一郎氏を講師にお招きし、「国際派日本人養成講座(入門編)」を開催しました。

小林氏は講演のなかで、主権国家同士の関係性が国際社会を形成しており、外交官はその国家間の利害関係を調整する役割を担っていることや、自身の海外での勤務経験を踏まえて、自分と異なる文化を受け入れどんな環境でも生きていける力を身につけることの大切さを伝えてくださいました。

また、勉強する際にはインプットだけではなくアウトプットも大切であること、本を読む際のコツなど、日頃の学習のヒントになるお話もしていただきました。

【生徒の感想】

- ・ 世界は広いのだと改めて感じ、興味を持たばたくさんを知ることができるため、好奇心や知らないことを知ろうとする積極的な姿勢を大事に生きていこうと思う。
- ・ 外国で自分の知らない文化や価値観に触れ、その新鮮さを楽しむことは、外国のことだけでなく、自分の住んでいる国についても客観的に知ることができ、世界を広げるとても良い機会になると思った。



対面での講演だけではなくオンラインでも



タブレットでスライドを共有